

令和7年度 夏休みの利用について（お知らせ）

1. 夏休みの体制

⇒発達段階・学年等を考え、2グループの小集団に分けて活動を行います。
（クラスで活動する為、活動内容も2通りに分けています）

- ① さくら（児童発達）・ひまわりクラス ②マリーゴールドクラス・つばきクラス

2. 夏休みの職員体制

⇒クラスごとに担当職員を配置。

（利用者一人ひとりをしっかり把握し支援するために、夏休みの間、担当制とします）

ク ラ ス	職 員 名
 さくらクラス  池原梨々花先生	 ひまわりクラス  豊里果林先生
<一日の流れ> ①朝の会 （連絡帳提出・挨拶・出席確認・一日の流れ確認等） ②個別活動 （机上学習＋微細訓練等・ラジオ体操・簡単な体遊び） ③昼食 ④自由遊び ⑤おやつ ⑥設定活動 ⑦帰りの会（一日の振り返り・荷物確認等） <グループ目標> 1. 気持ちの切り替えができる 2. 一日の流れに沿って、みんなと一緒に行動することが出来る 3. 最後まで話を聞くことが出来る 4. 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える ★学習面 1. 今日の日付・曜日が言える 2. 数を数える事が出来る（数概念の形成） 3. ひらがなに興味を持つ	<一日の流れ> さくらクラスと一緒に活動するが、午前中の個別活動は、「さくら」「ひまわり」と交互に行う ★ひまわりクラスは、初め、体遊びを行ってから机上学習を行う  <グループ目標> 1. みんなで一つの事をやり遂げる ★最後までやり遂げる事で達成感と友達との共感意識を持つ 2. スケジュールや手順表を見ながら動けるようになる * 個々の目標があり、それに向かって職員が対応



マリーゴールドクラス

吉田楓先生



つばきクラス

當眞知子先生



<一日の流れ> 教室：2F 学習室

- ①朝の会
- ②準備チェック
- ③ボディーイメージ
(柔軟性・バランス・トレーニング等) 担当：寛人先生
- ④宿題・個別時間
- ⑤昼食
- ⑥午後の活動（子ども達で決める）
- ⑦おやつ
- ⑧振り返り⇒帰りの会

<グループ目標>

1. 夏休みの流れに沿って、時間を意識して行動が出来る
 - ★集団で行動する意識を高める
2. 自己管理と物を大切に扱う意識付けをする
 - ★忘れ物がないように自分で前日に準備する癖をつける
 - ★事業所の物を大切に扱う意識付けをする
3. 友達との関わりの中で折り合いをつけながら過ごすことが出来る
 - ★「みんなと一緒に楽しく過ごす為には、どうしたらよいか？」を考えて行動する
4. 泣く・怒る前に、相手に対して自分の気持ちを伝えて行く（自己開示・認め合う）
 - ★自分の気持ちを伝える練習をする
 - ★他児の意見を受け入れ、解決策を考えて行けるよう意識付けを行う
5. 相手に言われて嫌な事、やられて嫌な事はやらない
 - ★相手を思いやる気持ちを持たせる

<一日の流れ> 教室：2F 学習室

マリーゴールドクラスと一緒に活動する
(一日の流れは、←左と同じ)



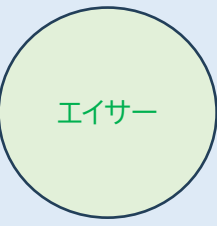
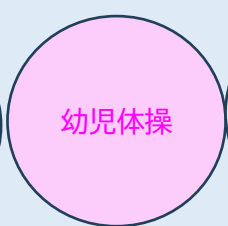
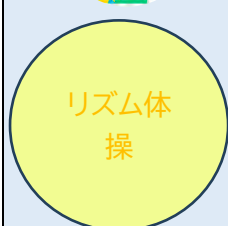
<グループ目標>

- ①時間を見て行動することが出来る
- ②「みんなと楽しく行動するには・・・どうすれば良いか？」を子ども同士で一緒に考えながら行動する（折り合いをつける・相手の意見を尊重する）
↓
- ★キーパーソンを大人（職員）から友達（子ども）へ移行
- ③「報告・連絡・相談」が出来る（自分の思っていることを相手に伝えることが出来る）⇒作業後の報告をしながら、就労へ繋げる
- ④自分自身を認める「自分が大好きになる」⇒こんな自分でも大丈夫！何があっても折れない心を作る



レクリエーション・ボディーコントロール 担当

村越雅之先生 上原寛人先生



* 幼児体操で前転なども行う予定ですが、専門の先生（雅之先生・寛人先生）が指導します。先生のいない所では、危険も伴う為、【やらない・させない】を徹底していただきたいです。よろしくお願いします。